



愛川ふれあいの村5月の風景

平成24年 5月 自然のたより

村の木々たちも今にもはじけそうに若葉をまとい、新緑で活気づいています。その木々の合間では、鳥たちの子育てが始まり餌を運ぶ親鳥の姿があちこちで見ることができます。生命の躍動感を感じる季節となりました。

<5月の自然のエピソード>

栗の木広場にて、ヒガラのヒナが巣から落ちる事件がありました。発見したのはディスクゴルフをしていた子どもたちでした。通報を受け、職員と一緒に落ちた付近の茂みへヒナをおいたところ、甲高い声でさえずり仲間を呼んでいました。しばらくすると親鳥が餌を与えに来ていました。巣立ち前のヒナであつたらしく、元気を取り戻したヒナは飛び立ったようです。



巣から落ちたヒナ



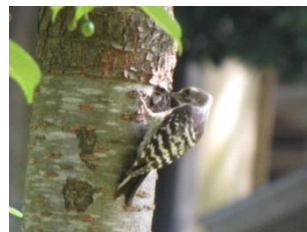
餌を与えに来た親鳥



ハクセキレイ



キビタキ



コゲラ



ヒヨドリ



シジュウカラ



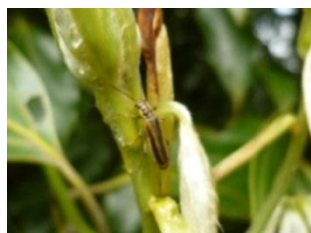
タンポポとモンシロチョウ



ベニシジミ



ヒメハナムシ (毒虫)



ジョウカイボン



スミレ



ウワミズザクラ



キンポウゲ

※5月10日から16日は愛鳥週間です。鳥の住める環境は人間にもよい環境です。